

# 農業

平成30年2月号  
会誌 No. 1635



## 目次

### 巻頭言

米政策について……………吉田 岳志 3

### 論壇

米生産調整の国からの配分廃止を巡る日本史的、  
世界史的大局観……………荒幡 克己 4

### 秋期中央農事講演会

AIにより変わる社会やビジネス……………樋口 晋也 6  
－人工知能の限界と潜在力－  
質疑応答…………… 21

### 平成農業技術史研究会

第4回平成農業技術史研究会－平成農業技術（花き作）の展開－  
話題提供……………今西 英雄 25

### 農事功績者座談会

果樹作（ウメ，ミカン）経営…………… 41  
農地基盤整備の推進と経営規模拡大によるウメを  
主体とした果樹専作経営……………船本 幸雄 41  
現地指導者のコメント……………中谷 方弥 48  
意見交換…………… 50

## 農業・農村の現場から

幻のカブ「藤沢かぶ」を現代に伝える

山形県鶴岡市 後藤勝利氏, 清子氏……………澤野 久美 59

## 世界の農業は今

タイのコメ政策の動向と新しい動き……………井上荘太郎 65

## 私の経営と志

夢から現実へーあこがれの種まきー……………井澤 孝宏 70

## 東京農業大学収穫祭から (第2回)

農業の安全が求められる時代……………農友会 村の会部 72  
- 農業生産工程管理 GAP -

## 農政情報

…………… 77

大日本農会だより…………… 78

編集部から…………… 78

## ミニ情報

地理的表示保護制度(GI)に基づき登録された特定農林水産物(11) …… 40

米の収穫量・相対取引価格の推移…………… 64

全国の野生鳥獣による農作物被害金額の推移…………… 77

## 表紙写真説明

### クリスマスローズの交配 (島根県出雲市)

冬の花の貴婦人とも呼ばれるクリスマスローズは寒さに強く、花の少ない真冬に可憐な花を咲かせる近年人気の花です。国内での歴史は約20年と浅く、毎年様々な新花が育種されています。

育種するための交配作業は「晴れた日の午前中」がベストとされていますが、交配時期である1月～2月の島根県の冬は日本海側気候のため日照時間が短く(関東のおよそ3分の1)、交配作業ができる日は極端に少ないです。そこで、温度を一定にした交配室で交配に適した環境を人工的に作り交配しています。また、交配中は「交配履歴から交配親の系統を・・・最適な株を・・・」と難解なプログラムを組むような、集中していなければできない作業、日中は電話や作業指示等、雑念が多すぎて非効率でした。

交配室のおかげで基本夜中に交配でき、安定的により思慮深い交配が可能になりました。集中して、熱中して、交配していると、いつの間にか朝になっていることもたまにあります。

(曾田園芸農場長 曾田 寿博)